

令和4年度 第5回 神戸中学校学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和4年12月10日（土）9：00～10：30

2 場 所 神戸中学校会議室

3 出席者 委員：是枝徳義，兼丸良政，林佳代子，阿部雅登，白塚山隆彦，
河北瑞希，北村 武，平子正人，高山 剛，木村元彦（学校長）
学校教職員：市川泰（教頭），樋口智己（教頭），

4 あいさつ（委員長）

新型コロナウイルス感染拡大が再度懸念されてきていることから，日々の生活に留意していく必要がある。

サッカーW杯が，大きな盛り上がりを見せているが，個々の力や世界との差で伸びしろを感じつつ，もう後ひと踏ん張りいるのかなと感じている。

各生徒も，それぞれの個性伸長に努力を重ねてほしいと願っている。

5 ステップアップスクール参観

北棟多目的教室及び教室で，神戸高校生徒の協力（学習アシスタント）を得て実施しているステップアップスクールの様子を参観する。

6 協議

（1）神戸中学校教育活動の現状について

学校長から，ステップアップスクールの実施状況や発行済学校通信等をもとに最近の学校生活の状況等について説明する。

（委員からの意見等）

- ・ステップアップスクールの取組は，昨年度の土曜授業から開催時期などでステップアップしたのものであると思うが，神戸高校の協力を得ながら今後もぜひ継続してほしいと思う。
- ・身近な世代間での教えることと教えられることは，双方に相乗効果があると思う。
- ・不登校の改善には，粘り強い取組が必要と思われる。先生だけでなく家庭との連携をいかに高め，家庭との対話や相談が大切なのではないかと思う。
- ・不登校は，改めて多くなってきていると感じた。なぜ多くなってきているのといった背景はどこにあるのか悩ましいと思う。
- ・ステップアップスクールは教える側の勉強にもなり，社会人としても役に立つ取組と考えている。
- ・不登校については，保護者の方も悩んでいる。社会全体で保護者の話に耳を傾けていくことも必要ではないか。家庭だけで抱え込まないように支援していく必要があると考える。

- ・いじめの問題は、完全になくすことは難しく、誰にも言えない思いや悩みもあると思う。いじめられている状況の時に声が出せない状況もあると思う。
- ・ステップアップスクールは発展していると思う。人数は、少ないとしても、誰もがしっかりと聞き、しっかりと取り組んでおり、少人数の効果を感じる。
- ・不登校は、学校に遅れてくる生徒の姿を見かけるが、学級の雰囲気も大事ではないかと思っている。
- ・不登校やいじめの問題などでのスクールカウンセラーの役割は大きいと思うので、スクールカウンセラーの効果を生かしていくことが必要ではないか。
- ・ステップアップスクールは、年齢が近い生徒間での教え合いで効果がある。
- ・2年生になりと、1年生の時とは表情が変わってきている。反抗期を迎えているのかとも思える。
- ・いじめや嫌なことがあっても言えない生徒もいるだろう。周囲で気にかける人がいるとことが大切と思う。声をかけることが大切と思う。
- ・中高連携は、とても良いと思う。休みの日の開催で負担にならないかと思う。

7 その他

(1) 今後の主な行事予定

学校長から、今後の主な学校行事予定について説明する。

(2) 第6回学校運営協議会

次回の学校運営協議会を、令和5年2月17日(金)18時00分から開催することを確認する。

(3) 教育委員会依頼アンケート

学校長から、教育委員会実施学校運営協議会委員対象アンケートについて依頼する。